

所沢市子ども・子育て会議  
(平成27年度第2回)

会 議 録

平成27年10月16日

会 議 の 名 称	所沢市子ども・子育て会議（平成27年度第2回）
開 催 日 時	平成27年10月16日（金） 午前10時00分から正午まで
開 催 場 所	市役所高層棟6階 604会議室
出 席 者 の 氏 名	（会議録別表1）のとおり
欠 席 者 の 氏 名	小沢 貞泰（所沢市放課後児童対策協議会） 藤澤 拓也（所沢市私立幼稚園協会） 藺田 公斗（地域型保育事業運営団体） 草刈 由美子（連合埼玉西部第四地域協議会）
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	議事 (1) 子ども・子育て会議及び子ども・子育て会議支援事業計画の概要について (2) 平成28年度開所予定施設の利用定員について (3) 事業計画の進捗の検証方法について (4) その他
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1：所沢市子ども・子育て会議条例</li> <li>・資料2：所沢市子ども・子育て会議の位置づけ</li> <li>・資料3：所沢市子ども・子育て支援事業計画（概要版）</li> <li>・資料4：子ども・子育て支援新制度パンフレット</li> <li>・資料5：特定教育・保護施設及び特定地域型保育事業の利用定員について</li> <li>・資料6：子ども・子育て支援事業計画における点検・評価について</li> <li>・資料7：平成27年度所沢市子ども・子育て会議のスケジュールについて</li> <li>・追加資料1：ところっこ子育てガイド（平成27年度）</li> <li>・追加資料2：ところっこ子育て講演会チラシ</li> </ul>

担 当 部 課 名	本田こども未来部長 及川こども未来部次長 こども政策課：岸課長、山崎主幹、草薨主査、肥沼主任、中島主事 こども支援課：浅見課長、安齊主査 こども福祉課：青木課長、野口主事 青少年課：小池副主幹 保育幼稚園課：町田課長、野上主幹 (事務局)こども未来部こども政策課 電話 04-2998-9415
-----------	--

( 会議録別表 1 )

## 所沢市子ども・子育て会議委員会名簿

	氏 名	出欠席状況	選出母体等
1	近喰 晴子	出席	学校法人 秋草学園 秋草学園短期大学
2	小松 歩	出席	学校法人 白梅学園 白梅学園短期大学
3	広瀬 正幸	出席	埼玉県所沢児童相談所
4	岩淵 賢一	出席	所沢市立小中学校校長会
5	高田 美智子	出席	所沢市民生委員・児童委員連合会
6	須田 昭仁	出席	所沢市 P T A 連合会
7	小沢 貞泰	欠席	所沢市放課後児童対策協議会
8	藤澤 拓也	欠席	所沢市私立幼稚園協会
9	喜多濃 定人	出席	埼玉県保育協議会
10	菌田 公斗	欠席	地域型保育事業運営団体
11	小松 君恵	出席	地域子育て支援拠点事業運営団体
12	水野 良司	出席	放課後児童健全育成事業運営団体
13	森田 純子	出席	所沢商工会議所
14	渡辺 良雄	出席	所沢地区労働組合協議会
15	草刈 由美子	欠席	連合埼玉西部第四地域協議会
16	リーガン 有香	出席	市民公募
17	高橋 航太郎	出席	市民公募
18	西村 克男	出席	市民公募
19	池田 亜希子	出席	市民公募
20	笹川 美千代	出席	市民公募

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
副市長	<p>～ 開 会 ～</p> <p>会議成立の報告 委嘱状の交付 副市長挨拶 委員・事務局職員紹介</p> <p>会長が決定するまで、座長を務めさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>会長及び副会長につきましては、所沢市子ども・子育て会議条例第5条第1項により「委員の互選により定める」となっております。互選ということですが、推薦または立候補はございますか。</p>
委員	<p>私からは、会長として近喰委員を、副会長として広瀬委員を推薦いたします。</p> <p>近喰委員は、秋草学園短期大学の学長であり、大学を総括されていること、また児童福祉に関する知識経験も豊富であること、さらには以前の次世代育成支援地域協議会の委員さんでしたので、是非お願いしたいと思います。</p> <p>所沢児童相談所の広瀬所長は、今までも子ども・子育て会議の副会長としていらっしゃる、また児童福祉の関連部署や関係団体の直接現場を把握されており、ご経験も豊富だと思いますので、是非お願いしたいと思います。</p>
副市長	<p>只今、推薦がありました、他にございませんか。</p>
委員	<p>私も、ただいまご発言のあった委員の意見に賛同しております。とてもいいバランスの中で会議が進行するのではないかと思います。よろしくをお願いいたします。</p>
副市長	<p>他には、いらっしゃいますか。</p>

副市長	<p>そうしましたら、会長に近喰委員さん、副会長に広瀬委員さんが推薦されておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、会長に近喰委員さん、副会長に広瀬委員さんをお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>大変恐縮ですが、副市長は公務の都合上、ここで退席させていただきますので、ご了承願います。</p> <p>&lt;副市長退席&gt;</p> <p>会長・副会長挨拶</p>
会長	<p>皆様のご協力をいただきまして、議事を進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入る前に、会議の公開、非公開、会議の記録方式、会議録につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>会議の公開・非公開の検討 ～事務局より説明～</p>
会長	<p>ただ今事務局から「会議の公開・非公開」、「会議録の記載方式」、「会議録の確定」に関する説明がありましたが、今までと同様の扱いということでご異議ございませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
会長	<p>ご異議なしということですので、今までと同様の取扱いといたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○会議原則公開(傍聴は先着10名)</li> <li>○要約方式による会議録</li> </ul>

<p>会長</p>	<p>○会長の承認に要る会議録の確定</p> <p>傍聴希望者の確認 傍聴者入場（１０名）</p> <p>それでは、事務局より、配布資料の確認と本日の流れをお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日の資料は、次第、委員名簿、</p> <p>資料１：所沢市子ども・子育て会議条例 資料２：所沢市子ども・子育て会議の位置づけ 資料３：所沢市子ども・子育て支援事業計画（概要版） 資料４：子ども・子育て支援新制度パンフレット 資料５：特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員について 資料６：事業計画の進捗の検証方法について 資料７：平成２７年度所沢市子ども・子育て会議のスケジュールについて</p> <p>本日の会議の流れでございますが、はじめに、議題１として「子ども・子育て会議及び子ども・子育て支援事業計画の概要について」、次に、議題２として「平成２８年度開所予定施設の利用定員について」、議題３として「事業計画の進捗の検証方法について」、それぞれ事務局から説明し、委員の皆さんからご意見などをいただきたいと思います。最後に、議題４「その他」として、次回の会議日程等について事務連絡させていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>本日の流れについては事務局の説明のとおりです。</p> <p>それでは、議事に入ります。まず、議題１の「子ども・子育て会議及び子ども・子育て支援事業計画の概要について」事務局から説明をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>それぞれの議題に入る前に、育児休業の件で市に質問したいことが</p>

<p>会長</p>	<p>あるのですが、議題1と4のどちらで質問すればよいですか。</p> <p>事務局より回答をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日は、子ども・子育て会議の位置づけや、他の審議体の役割を説明させていただきますので、そこで育児休業に関する説明をさせていただいたうえで、さらに何かご質問したいことがございましたら、議題4その他のところでお願いしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>では、関連するところで質問してもよいということですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>会議についての説明をこの後行いますので、まずはそれを聞いていただいて、それでも何かわからない点があればご質問していただければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、議題1の「子ども・子育て会議及び子ども・子育て支援事業計画の概要について」事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>～事務局より資料1・2に基づき説明～</p>
<p>会長</p>	<p>議題1の前半として「子ども・子育て会議」について、説明がありましたが、ご質問等ございましたら、お願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>平成26年度までの所沢市の育児休業の運用について、どのような根拠に基づいて行われていたのか、説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ただいま会議の位置づけについて、資料に基づきご説明させていただきましたが、育児休業中の保育の継続に関する問題については、保育園等運営審議会の方で、意見をいただきたいと考えております。市の会議体の住み分けとしては、保育園等運営審議会の方で取り扱う議題になります。</p> <p>前回子ども・子育て会議を開催した際には、保育園等運営審議会</p>

委員	<p>の開催が未定であったため、急遽子ども・子育て会議で育児休業に関するご意見をお伺いしましたが、今後につきましては、本来の審議内容についての整理ということで、育児休業に関するご意見等は保育園等運営審議会の方でお伺いしたいと考えております。</p> <p>議論ではなくて、質問をしています。昨年も保育園等運営審議会が開かれていないわけですから、この会議の場は非常に大事な場であると考えます。そういう意味でも、質問に答えていただきたいと思いません。</p>
事務局	<p>平成26年度までの育児休業の運用に関してですが、平成14年に小学校に上がる前のお子さん、あるいは発達等の要因によって保育園を継続することが適当であると認められたお子さんについては、そのまま保育園をご利用していただくという旨の通知が国からきておりました。市では、それに基づきまして、施設長の判断のもとご利用していただくという形をとっておりました。</p>
委員	<p>平成12年に各施設長宛てに市が出した通知には、どこにも「施設長の判断に基づき」とは書かれていません。どこからそのような根拠がでてきたのですか。</p>
委員	<p>育児休業のことは、条例で、子ども・子育て会議で取り扱う範囲ではないと決めています。育児休業のことはばかり再質問されても、本来の子ども・子育て会議で話し合うことができません。時間も限られていますし、事務局は保育園等運営審議会で見解を伺うと言っているので、それでいいのではありませんか。</p>
委員	<p>私は前回から出席していますが、ある特定の委員さんがずっと質問を繰り返していくと、他の審議がまったくできなくなってしまいます。先ほど、会長さんもおっしゃっていたように、みんなの意見を聴いてより良い会議にしていきたいと思っております。もっと一人一人が発言できる会議にしていきたいと考えております。</p>

委員	<p>私は長々とやっているわけではありません。改めて、平成12年に市が出した通知についてご説明いただきたいと思います。</p>
委員	<p>もう一度この会議の目的や設置について考えたいのですが、資料1にありますように、「子ども・子育て支援法に基づいて」とありますので、もしよろしければ事務局から子ども・子育て支援法の目的についてご説明いただき、その目的に沿った会議をしてはいかがでしょうか。</p>
会長	<p>事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>子ども・子育て支援法第1条には、「この法律は、我が国における急速な少子化の進行、並びに家庭及び地域を取り巻く環境の変化に鑑み、児童福祉法その他の子どもに関する法律による施策と相まって、子ども・子育て支援給付、その他の子ども及び子どもを養育している者に必要な支援を行い、もって一人一人の子どもが健やかに成長することができる社会の実現に寄与することを目的とする。」とあります。</p>
会長	<p>平成26年度までの育児休業運用に関する問題については、保育園等運営審議会のほうで取り扱うことになっておりますので、先に進めさせていただいてもよろしいですか。</p>
委員	<p>子ども・子育て会議は、幅広く子どものことを考える場だと思いますので、前回の会議でも意見を出されていましたが、私も発言しました。ですから、この会議でも、育児休業問題について話し合ってもいいのではないかと思います。私は長々と話し合いたいのではなく、市からの説明がほしいだけです。施設長の判断だという根拠はどこにあるのですか。</p>
委員	<p>質問されることは結構だと思いますけれど、私は、みんなが公平な立場で会議をすべきだと思います。育児休業に関することは新聞にも</p>

	<p>載っていますし、裁判にもなりましたし、興味があるのはわかります。しかしながら、保育園等運営審議会は昨年開催されてなくて、今年は開催される予定とのことですので、その日程が確認できればよいと思います。</p> <p>先ほどから、お一人でずっとお話しされていますが、時間も限られていますし、審議会の日程を確認したら、すこし発言を控えていただけませんか。</p>
委員	<p>保育園等運営審議会は、いつごろ開催されるのですか。</p>
事務局	<p>開催時期につきましては、11月下旬から12月上旬を目途に考えております。</p>
会長	<p>それでは保育園等運営審議会の結果を、この会議でご報告いただければと思いますので、よろしく願いいたします。何かご質問等ございますか。</p> <p>それでは、引き続き、議題1の残りの「子ども・子育て支援事業計画」について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>～事務局より資料3・4に基づき説明～</p>
会長	<p>議題1の後半として「子ども・子育て支援事業計画」について、説明がありましたが、ご質問等ございましたら、お願いいたします。</p>
委員	<p>小学校・中学校の立場から述べさせていただきますと、小さい頃の家庭環境、あるいは子育て環境が、小中学校の子どもたちには大変大きな影響を及ぼしていると、日頃子どもたちと接するなかで感じております。今、事務局からご説明があったように、様々な形で子育てに対するご支援をいただいておりますし、地域の子育てという点では、児童クラブなど地域で見守る体制等も計画の中に盛り込まれているようです。</p> <p>今後も、様々な角度、ご支援、ご理解が子育ての中では非常に重要</p>

	<p>になってくると思います。市の子ども・子育て会議は、とても良い場だと思いますので、ぜひ様々な方からご意見をいただいてそれを反映できるようにしていただけるとありがたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>他に、何かご質問等ありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>私の息子は潜在的待機児童です。待機児童であるがために、育児休業を延長せざるを得ませんでした。待機はしているけれども、結果として育児休業中であるため、待機していない状態になっています。たまたま、私の家の近所に大きなマンションが建設中で、電車内での広告を見ると、埼玉県が認定した子ども支援認定マンションと記載してありました。でも結局、私の住んでいる近所では待機児童がいっぱいいて、このマンションに住む予定の人もお子さんがいるファミリー層だと思います。マンションが建って、入居者が入ってから保育施設を対処するのでは遅いと思います。このような大規模な事業計画の通知は、市にも届いていると思うのですが、行政として対処するということはあるのでしょうか。先回りして考えていかないと、ただ待機児童が増えていくだけになると思います。私たちから見ると、行政のスピードは遅いと感じます。もっと敏感になってほしいです。もっと先を見据えた計画を立ててほしいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>議題2にも関連することだとは思いますが、今お答えできる範囲で事務局からお答えいただけますでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>民間のマンション建設等については、ある程度事業が具体的になった段階で市でも街づくり条例等の手続きが始まるのですが、待機児童がいるからといった理由により、建設を制限するという事は難しい状況になっております。所沢市に限らず、保育施策が後手後手になっているというのは、確かにあると思います。先ほど、先を見据えた計画を、というお話がありましたが、計画書の中にも記載しましたとおり、所沢市の人口推計は、特に未就学児童の人口が減少していきますことから、現状施設整備が足りない地域があるのは市でも承知してい</p>

委員	<p>ますけれども、さらにその先を見据えていきますと、施設の供給過剰になる地域もございます。</p> <p>また、国の見立てでも、平成29年度が待機児童数のピークであるという話もあります。目の前の待機児童を追いかけて保育施設をどんどん造っていきますと、さらにその先を見た場合に、施設の供給過剰という問題も懸念されます。マンション等の建設を制限することは非常に難しい状況にあるということをご説明させていただくにとどまる状況です。</p> <p>今のご意見に関しまして、民間事業者の立場から発言させていただきます。計画にもあったように、急速な人口減少の中で、行政だけに頼るのではなく、企業も働く人のために、事業所内保育をしようとか小規模型保育をしようという動きが、平成27年度は出てきているように思います。やはり大きな施設を造ってしまうと、過剰になってしまう地域もある中で、民間の事業者も一緒になって保育していこうという制度もできつつあり、補助金もできました。そういうところも含めて、民間事業者もこれからの保育を担う必要性はあるのではないかと考えています。</p>
委員	<p>私は保育協議会からの代表ですが、待機児童とは別に保育士不足という問題もあります。0歳だと1人の保育士が3人の子どもを見ていくという配置になります。また、東京都と所沢市だと賃金格差があります。そういうこともありまして、なかなか保育士を雇用することができない現状があります。求人を出しても来てくれません。保育園をどんどん建てれば建てるほど、保育士不足が深刻化していきます。そうすると劣悪な保育を生んでしまいます。やはりいろいろな側面から考えて、どういう風に整備していくのが効果的なのかも考えなければいけないし、造れば造るほど、いろいろな問題が起こってきます。大きなマクロの視点で考えていかなければいけないと思います。</p>
会長	<p>ほかにご意見のある委員はいらっしゃいますか。</p>

委員	<p>マクロの視点で考えるとといっても、これから5年10年経って子どもたちが減っていく頃に、やっと体制が整いましたというのでは、対応が遅いと思います。本来はもっと子育てをしやすい環境をつくって、人口減少を食い止めることを進めないと、ただ減るのを見ているだけになるのではないかと思います。今回この会議に参加させていただいて、行政と私たちのペースがどれくらい違うのか見てみたいと思っていました。本当に真剣に子どもたちの未来を考えたら、もっと早いペースで進めたほうが良いのではないかと思います。</p>
会長	<p>新しい園がどんどんできておりまして、それに対する保育士養成が追いついていない現状がございます。市内の園長からも、定員をもっと確保したいが、保育士が集まらない、難しいといった声が上がっております。その点では、私どもの大学においても、保育者養成に力を入れていきたいと思っております。</p> <p>では、他に何か質問はございますか。</p>
委員	<p>このすくすくサポートプランに記載されている基本理念はすばらしいと思います。こういう視点から見て疑問に思うことを、私は先ほどから質問しているのであって、別にかき離れていることを話しているわけではありません。所沢の子どもたちの成長のために、何ができるかということを考えているわけです。</p> <p>私は、民間保育園に力を借りることも良いとは思いますが、やはり財政的なことも考えると、公立保育園の役割は大きいと感じます。財政的に市の負担は増えていくと思えますけれども、やはり民間ではできない公立だからこそ出来ることがあると思えます。全国的にも隠れ待機児童が問題になってきています。公立保育園の枠をもっと増やしていけば、この問題は解決へ向かうのではないかと思います。ただ、行政が民間保育園にお願いしているということについても、私はとても評価しています。</p>
会長	<p>議題2と重なる部分もございますので、引き続き、議題2の「平成28年度開所予定施設の利用定員について」事務局より説明をお願い</p>

事務局	<p>いたします。</p> <p>～事務局より資料5に基づき説明～</p>
会長	<p>具体的な数値をご提示いただきながらご説明くださいましたけれども、議題2につきまして、何かご質問ございますか。</p>
委員	<p>今、数の説明がありましたが、数が足りていることと利用しやすいことは違うと思います。例えば、働いていて保育園に預ける場合、通勤途上の駅に近い場所や自宅近くに保育園がないと利用しづらいので、この数は実際のニーズと乖離していると思います。</p> <p>私の妻の場合だと都内に職場がありますが、預ける場所は自宅からの距離や駅からの距離が重要になってきます。自分のライフスタイルのエリアから離れているところに保育園があっても希望は出しにくい、というのが問題だと考えます。利用しやすいところに保育園がないと、定員に余裕があったとしても利用しないと思います。</p> <p>まわりの環境を見ていると、電車通勤の場合だとやはり駅に近い保育園が人気の傾向があります。他に預けようとする、仕事上影響が出てしまうから預けられない、民間保育園に預けようとしても、定員が埋まっていて預けられない、そうやって結局待機児童になってしまいます。挙句の果てに、育児休業延長がぎりぎりになったときに会社を辞めるという選択を迫られることになっているのが現状です。この数の論理は、ニーズとかけ離れていて、そのような選択を差し迫られている身にとっては、おかしいかなと感じます。</p>
委員	<p>4ページの修正後の確保の内容のところで、平成28年度は吾妻の施設数が5から4に減っていますが、平成27年度の場合、吾妻は3かと思います。そこから1つ増えるのですか。</p>
事務局	<p>来年度民間の新設園を2園予定しております。都内に通勤される方などの生活スタイルを踏まえて、駅に近いところに保育園が必要だということは十分理解しております。新設園のうち1園は、所沢駅のす</p>

	<p>ぐ近くにございます。市のほうも、市民の皆さまの生活を考えずにやみくもにつくっているわけではありませんので、ご理解いただきたいと思ひます。</p> <p>吾妻地区に2園新設する予定でしたので、施設数は3から5に増える見込みで計画書に記載しましたが、そのうちの1園が先ほども説明しましたとおり、所沢地区に新設することになりましたので、5の予定だったものが4になったという表現でございます。わかりにくい表現で申し訳ございません。</p>
<p>会長</p>	<p>その他、ご質問等ございますか。</p> <p>ないようでしたら、引き続き、議題3「事業計画の進捗の検証方法について」事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>～事務局より資料6に基づき説明～</p>
<p>会長</p>	<p>議題3に関し、説明がありましたか、ご質問等ございましたら、お願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>点検評価はとても大事なことで、計画を策定したら我々が確認していくことは非常に重要であると考えます。その点では、所沢の学童保育の状況を我々委員が視察する必要があると思ひます。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、委員から学童保育の視察というお話がありましたか、市では、学童ではなく児童クラブ、また児童館での生活クラブと呼んでおります。こちらの事業につきましては放課後児童対策協議会で所管しております、11月10日にこちらの協議会で視察を行う予定でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>その他、何かご質問等ございますか。</p> <p>それでは、時間も差し迫っておりますので、最後の議題4の「その他」について、事務局より説明をお願いいたします。</p>

事務局	～事務局より資料7に基づき説明～
会長	今後のスケジュール等につきまして、ご質問等ございましたら、お願いいたします。
委員	確認ですけれども、次回の会議で進捗検証をする場合の資料はどのような形で提示されるのでしょうか。また、次年度の予算編成にもかかわってくると思うのですが、1月下旬から2月上旬の開催で間に合うということでしょうか。
事務局	計画の見直しが必要な部分について、明確にわかるような資料を作成して、次回の会議までに委員の皆さまにお届けしたいと考えております。
委員	具体的な事業の内容については、達成目標というのがあるかと思いますが、こちらのすくすくサポートプランでは、具体的にどこまでやっていくかというのが示されていません。ですので、今年度はこのような目標を設定してここまで達成できましたという形で、資料が提示されると理解してよろしいですか。
事務局	そのとおりです。
委員	確認したいことがあります。前任委員からの申し送り事項があるかと思いますが、その扱いについてはどうなっていますか。
事務局	前任委員から申し送り事項をいただいております。前会長から新委員全員に対する申し送りではなく、新会長への申し送りとしていただきたいと前会長から依頼されておりますので、近喰会長にお渡ししたいと考えております。
委員	できれば、そういうことがあったということを私が質問する前に、事務局から報告していただくことが大事だと思います。

会長	<p>前会長から申し送りがあったということで、これから承りたいと考えております。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、以上で本日の議事はすべて終了いたしましたので、事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>それでは、閉会のご挨拶を広瀬副会長にお願いいたします。</p> <p>副会長挨拶</p>
事務局	<p>以上で、平成27年第2回子ども・子育て会議を閉会いたします。本日は、長時間にわたり大変ありがとうございました。</p> <p>~閉会~</p>